

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2020 年 4 月 24 日
報告者	山田 さつき
助成団体名 (所属団体名)	つながる滋賀
団体住所	〒 523-0813 滋賀 <small>都道府県</small> 近江八幡市西本郷町 252-28
団体電話番号	090 — 3826 — 9563
代表者 (助成対象者)	山田 さつき
助成対象事業	滋賀県内の教育機関・高齢者施設で赤ちゃん先生を開催し、世代間交流や子育て中の活動を高める事業
事業（助成）期間	2017 年 4 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日
事業費総額	1,157,134 円
助成金総額	990,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は最小限度に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

滋賀県内の教育機関・高齢者施設で赤ちゃん先生を開催し、世代間交流や子育て中の活動を高める事業として、NPO法人ママの働き方応援隊が運営する赤ちゃん先生プロジェクトのママと赤ちゃんを講師として招きました。

教育機関では赤ちゃんとのふれあいを中心にママの話聞くことで、生命があることの奇跡、命の大切さや沢山の愛情が周りにあふれていることへの気づきなどを学び、心の成長につなげています。

高齢者施設では笑顔の時間を共有するために赤ちゃんから高齢者までが楽しめる時間づくりをしています。

またそのふれあいのための意識向上と子育て世代が地域の人々とのつながりを強化することを目的に、性教育講座など専門の講師を招き各種講座を開催しています。

赤ちゃん先生の認知度拡大を目的に、各種交流会やマルシェなどに参加し、広報活動もしています。

赤ちゃん先生開催のためや、各種講座の開催のための資金作りを目的に、活動広報もかねてクラウドファンディングにチャレンジもしています。

多世代交流の場づくりとして、意見交流会なども開催しています。

3、事業成果

3年前の2016年度、つながる滋賀がサポートする前は滋賀県内での赤ちゃん先生開催数は、高齢者施設1施設（6回）教育機関5校（9回）でしたが、つながる滋賀が広報・資金面でのサポートをしたことにより、2017年度には高齢者施設2施設（6回）教育機関11校（17回）・2018年度には高齢者施設2施設（10回）教育機関13校（20回）・2019年度には高齢者施設1施設（6回）教育機関9校（18回）、と開催先、開催回数共に増加しました。

開催先の方からは、以下のような感想もいただいています。

- ・普段は表情の乏しい方が、とても笑顔になっていることに驚きました。（高齢者施設）
- ・立つのもしんどいという方が、赤ちゃんのためにオモチャを取りに歩いて行って手渡しする姿が新鮮でした。（高齢者施設）
- ・私もこんなにちっちゃかったんだなと思った。（小学校）
- ・赤ちゃんの肌はプニプニしていて、温かかった。（小学校）
- ・赤ちゃんを育てることはとても大変だと知って、育ててくれたお家の人に感謝しようと思った。（小中学校）
- ・小さい子供は苦手だったけど、ふれあいをしたことでかわいいなと思った。（中学・高校）
- ・育児は大変なことも多いけど、そのぶん幸せを感じられることが多いんだなと思った。（中学・高校）
- ・将来子供が欲しいと思った。（中学～大学）
- ・街で子連れの人を見かけたら、手伝えることがあるか声をかけてみようと思った。（高校・大学）
- ・自分が親になったら、パートナーをしっかりと支えたいと思った。（高校・大学）
- ・いつも授業を長時間聞く事が難しい生徒もいる中で、だれ一人途中で抜けることなく真剣に話を聞いている姿に驚いた。（教員）
- ・教科書や人形を使った授業では伝えられないことがふれあいを通して感じる事ができ本当に良かった。（教員）
- ・生徒が帰ってから家で赤ちゃんとのふれあった感想を伝えたらしく、保護者からも子供との会話につながりとても好評で、今後もぜひ継続して授業を取り入れたい。（教員）

またFAAVOという地域型クラウドファンディングにてチャレンジすることにより、今まで赤ちゃん先生を知らなかった方からも応援のお言葉や資金援助をいただくことができたことで、認知度を高める効果を得られたとともに、ご支援いただいた方へのお礼として、県内で生産されている商品や活動されている方のサービスが受けられる商品を届けることにより、人と人をつなぐことができたとも思います。

講師の先生を招いての各種講座では、主に「幼児期からの性教育」や「子育てに役立つ個性心理学講座」など、子育て世代の知識や意識向上につなげることができました。

参加者の方からは、今後の育児の参考になった・子供との関係でもやもやしていた部分も少し気楽に考えられるようになった。との感想もいただいています。

その他子育て世代交流会では、年齢性別関係なく意見を言い合える場所を設け、自分の思いを伝え他のいろんな意見や考えにふれる場づくりもしました。

子育てを卒業した方や孫ができた方なども参加してくださり、今の子育ての現状や思いを伝えあえたと思います。多世代交流する意義をととも感じられました。

4、今後の課題など

今後の課題として、安定した運営だと感じています。現況は寄付や助成金等、外部の方に応援していただいて成り立っているところが大きいので、講座開催での資金を強化する、自分たちが講師となり資金獲得できるようにするなど、運営方法の見直しを含め強化していきたいと思います。

資金面だけでなくメンバーも増加できるようにしていきたいと思います。メンバーを増加することにより、メンバーが一番の応援者であるのと共に、知識面でも強化につながると思います。

情報発信の方法も現在は **Facebook** ページでの配信のみになっているので、今後強化していきたいと思います。